

お出かけしてみませんか

県内のおすすめスポット

皆様のふるさとの星空には負けますが、
神奈川にも、星や宇宙について学べる施設があります。
晴れた夜には空を見上げてみませんか。



はくちょう座 ©JAXA



相模原市立博物館

<http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/>

相模原の歴史・自然や宇宙について学ぶことができる博物館。プラネタリウムもあり、大人も子どもも楽しめます。「プラネタリウム番組」は、当日の夜に見える星座などを紹介する『星空案内』と『テーマ解説』の二部構成です。県内最大級の直径23mのドームに広がる美しい星たちと約40分の生解説を楽しめます。迫力ある映像の「全天周映画」も好評です。隣にはJAXA相模原キャンパスがあり、お時間があれば両方訪れるのもお勧めです。
※飲食物の販売は自動販売機のみです。お弁当を喫茶室で食べることはできませんが、ゴミはお持ち帰りください。



所在地 神奈川県相模原市中央区高根3-1-15

開館時間 9:30～17:00

アクセス JR横浜線「淵野辺」駅 南口から徒歩20分／南口(2番乗り場)から
神奈中バス 青葉循環(淵37系統 左回りまたは淵36系統 右回り)
(乗車時間10～15分)「市立博物館前」下車すぐ／無料駐車場あり

入館料 常設展 無料、企画展 別途観覧料が必要な場合あり、
プラネタリウム・全天周映画 おとな500円、こども200円

休館日 毎週月曜、国民の祝日の翌日(月曜が国民の祝日の場合、翌平日が休館)、
年末年始(12月28日～翌年1月3日)

JAXA(宇宙航空研究開発機構)相模原キャンパス

<http://www.isas.jaxa.jp/>

見学は無料、予約や事前連絡は不要です。来館時に門衛所にて受付してください。展示室には人工衛星や探査機、ロケットの模型などが展示されています。また、屋外にはM-Vロケットの実機模型、M-3SIIロケット原寸模型も展示してあります。



※食堂と売店がありますが、食堂への飲食物の持ち込みおよび食堂以外の場所での食事はできません。

所在地 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

開館時間 9:45～17:30／食堂営業時間:平日11:30～13:30(食事)13:30～16:00(喫茶のみ)

アクセス 相模原市立博物館を参照

入館料 無料

臨時休館日 ホームページまたはお電話でご確認ください(JAXA相模原キャンパス 広報・普及係 042-759-8008)

かわさき宙と緑の科学館 サイエンスプリン(川崎市青少年科学館)

<http://www.nature-kawasaki.jp/>

生田緑地(<http://www.ikutaryokuti.jp/>)にある、自然や天文、科学に関する展示を行っている博物館です。プラネタリウムでは、最新鋭投影機メガスターⅢフュージョンによるリアルな星空が楽しめます。プラネタリウムは人気があり、当日の早い時間にチケットが売り切れることがありますので、早めのチケットご購入をお勧めします(プラネタリウムのチケットは9:30より当日分を販売。有料観覧者20名以上の団体は予約可能、詳しくはホームページで)。生田緑地の散策や他の施設の見学も楽しめます。



所在地 神奈川県川崎市多摩区枳形7-1-2

開館時間 9:30～17:00

アクセス 小田急線「向ヶ丘遊園」駅 南口から徒歩約15分／JR「武蔵溝ノ口」駅 南口(2番乗り場)から市バス「溝19系統 向ヶ丘遊園駅南口」行き(乗車時間20分)「生田緑地入口」下車 徒歩5分／小田急線「向ヶ丘遊園」駅 南口(5番乗り場)から市バス「溝19系統 溝ノ口駅南口」行きまたは「原ヶ谷」行き(乗車時間5分)「生田緑地入口」下車 徒歩5分／生田緑地に駐車場(有料)あり

入館料 無料、プラネタリウムは観覧料金(一般400円／高大200円／65歳以上200円／中学生以下無料)が必要

休館日 月曜日(祝日の場合翌火曜)、祝日の翌日(土・日の場合は開館)、
年末年始

発行者:かながわ避難者と共にあゆむ会

【活動拠点】〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター
Tel:045-312-1121(内線4142) [受付時間:毎週月～土曜日13時～17時] Fax:045-312-1862

【連絡先】〒220-0004 横浜市西区北幸1-1-8 エキニア横浜ビルB1階 MBE 113
メール:info@hinansha-shien.net ホームページ:<http://hinansha-shien.net/>

【協力】神奈川県、かながわ避難者支援会議

広報誌「ともにあゆむ」発行は、かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金(ボランティア活動補助金)対象事業です。



活動支援金のお願い

私たちの活動をサポートして下さる方からの活動支援金(1口1,000円)を受け付けております。ぜひ、ご協力ください。

【ゆうちょ銀行】
振替口座 00250-7-101771
加入者名:かながわ避難者と共にあゆむ会

ともにあゆむ

2014
第2号
8-9月

避難されている方々同士が
つながり、語り合い、
共にあゆむことを目指して。



避難されている方向けの
東北3県の取り組み

8～9月の
交流ひろばのご案内

神奈川県で活動する
団体のご紹介

つなげる・つながる



避難されている方々に向けた取り組みと情報発信

岩手 岩手県 復興局 生活再建課

東日本大震災の影響により、神奈川県内にお住まいの皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

岩手県では、復興実施計画(第2期)を策定し、被災者一人ひとりが安心して生活を営むことができ、将来にわたって持続可能な地域社会を目指す『本格復興』をテーマとし、計画を進めるに当たって重視する視点として、「参画」「つながり」「持続性」の3つを掲げ、本格復興を目指しています。

さて、岩手県では、東日本大震災により岩手県外に避難されている皆様に対して、主に、情報提供と相談支援の取り組みを行っております。

情報提供の取り組みでは、復興の進捗状況、支援制度、首都圏での交流会などの資料を毎月直接郵便により送付しています。神奈川県内に避難されている皆様を対象としたイベント情報を同封することもございますので、ぜひご覧ください。今月は、各種支援情報や相談窓口等を一冊にまとめた、「被災された皆様に役立てていただくための暮らしの安心ガイドブック 平成26年度版」をお送りしています。ご活用いただけると幸いです。

相談支援の取り組みでは、神奈川県内をはじめ、首都圏等

で開催されている避難者交流会に出席し、避難されている皆様への相談対応や情報の提供、関係機関との連携を行っています。岩手県ご出身の方がお一人でもいらっしゃるのであれば、ふるさとの情報を携えて岩手より伺いますので、皆様とお目にかかれる機会を心待ちにしております。

また、本年4月より、皆様がより気軽にご相談していただくために専用の相談フリーダイヤルを設置しました。加えて、現在のお住まいでの生活がより充実したものになるよう、避難先自治体や支援団体の皆様と引き続き協力していきます。

何かお困りのこと、不安に思っていること等がございましたら、ご利用になりやすいどの方法でも構いませんので、お気軽にご連絡ください。

岩手県は、皆様お一人おひとりのご意向に沿った支援を届けられるよう努めてまいります。

岩手県庁被災者専用相談ダイヤル
フリーダイヤル 0120-180-279(いわてにつなぐ)
平日 9時~12時 13時~17時 ※携帯電話からもご利用いただけます。

Iwate



宮城 宮城県 県外避難者支援員 花上桂子 山本早苗

東日本大震災により被災し、神奈川県内に避難されている皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

宮城県では、東京周辺に避難されている皆様に対して、避難先での生活の安定及び帰郷に向けた情報提供や相談援助などを行うため、県外避難者支援員を配置しております。

現在、避難先の自治体や社会福祉協議会等の支援団体の皆様のご協力のもと、神奈川県はじめ東京周辺で開催されている避難者交流会やサロンなどに参加して、ふるさとの復興等に関する情報提供のほか、個別面談による相談なども行っております。

引き続き、避難者の皆様のご意向やお気持ちに添った支援に努めてまいりますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

暑さ厳しき折、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

連絡先 宮城県東京事務所 (TEL 03-5212-9045)
また、宮城県では、県外避難者の皆様にとって、帰郷に向けた生活復興にお役立ていただけるよう、復興情報やさまざまな支援情報等を毎月1回お届けする「みやぎ復興定期便」を5月から開始しております。お手元に届いていない場合は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

連絡先 宮城県震災復興推進課 (TEL 022-211-2408)

Miyagi

ふるさとニュース

応急仮設住宅の供与期間の延長

災害公営住宅の建設が計画よりも遅れているを受けて、東日本大震災で被災された方向けの、災害救助法に基づく応急仮設住宅の供与期間を5年に延長することについて、福島県に続いて宮城県、岩手県も国の承認を受けました。受入先の各都道府県でも、被災県からの要請に基づいて住宅の供与期間延長を決めており、神奈川県でも平成26年7月23日付けで供与期間延長が記者発表されました。

延長期間は、岩手県、宮城県から避難されている方の場合「応急仮設住宅の供与開始から5年間まで」、福島県から避難さ

れている方の場合「平成28年3月31日まで」となっています。神奈川県において対象となる住宅は、被災3県から神奈川県内に避難されている方が入居している、(1)県が借り上げている民間賃貸住宅、(2)被災者が入居している県借上公共賃貸住宅、(3)被災者が入居している県営住宅、国家公務員宿舎及び神奈川県住宅供給公社住宅となっています。これに該当しない市町営住宅等については、各事業主体ごとに対応を検討しているとのこと。また、貸主の事情によりその住宅での延長ができない場合は、被災県と調整しながら適切に対応するとのこと。期間延長に関する手続きについては関係機関より順次お知らせが届きますので、ご確認ください。

福島 福島県 避難者支援課 主事 早坂一希

東日本大震災により、避難生活を送られている皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

私は駐在職員として、東京都、神奈川県、千葉県、静岡県を担当しております。東京都庁に駐在している豊田主任主査とともに、各地の交流会等に参加し、避難されている皆様と顔の見える形での対話に努めております。

福島県では、避難されている皆様に安心して暮らしていただくため、神奈川県を始め、関係市町村のご協力をいただきながら、住宅の支援や、情報の提供、相談、見守り、交流の場の提供などの支援に取り組んでおります。今回は、その取り組みの一部を紹介させていただきます。

■住宅の支援

応急仮設住宅の供与期間については、被災自治体の判断で1年を超えない範囲で延長が可能とされており、本県においてはさらに1年延長して、供与期間を平成28年3月31日までとし、各都道府県に本県と同様の対応を依頼しております。

■ふるさと情報の提供・発信

避難先の公共施設等への地元紙(福島民報・福島民友)の送付や、国、県、市町村の広報誌やお知らせ、地元紙のダイ

Fukushima



ジェスト版のダイレクトメール送付、福島県の復興に向けた動きや避難者支援に関する取り組みなどを盛り込んだ避難者向け情報紙「ふくしまの今が分かる新聞」の発行(月1回)等により、避難されている皆様にふるさと福島の情報提供を行っております。

■避難者支援団体への補助事業

県外の避難先において、避難者に対する相談、見守り、交流の場の提供などの支援事業を行う団体に対して、その経費の一部を助成しております。神奈川県では3団体に交付しております。

今後も、受け入れ自治体及び関係団体等のご協力をいただきながら、引き続き避難されている皆様の帰還や、生活再建につながるよう支援に取り組んでまいります。

まだまだ暑い日が続きますが、くれぐれもご自愛ください。

駐在職員相談窓口
電話:03-5388-2384(東京都) 受付時間 9:00~18:00
電話:045-210-5970(神奈川県) 受付時間 9:00~17:15(毎週水・木)

ふくしまの今とつながる相談室toiro

ふくしま連携復興センターでは2014年5月から、福島県外に避難されている方を対象とした相談窓口を始めました。名前は「ふくしまの今とつながる相談室toiro(といる)」。

県外で生活されている方々の悩みや想いはさまざま、まさに十人十色だと思います。それぞれの想いをひとつひとつ丁寧に受け止め、お悩みや困り事の解決に向けてお手伝いしたい。そんな相談窓口です。

「県外避難から福島に戻りたいけど、保育所の空きがあるかどうか心配」、「すでに住民票を県外に移してしまいましたが、子どもの甲状腺検査を無料で受けることはできませんか?」。そんなご相談をこれまでにいただいています。ご相談の内容に応じ、私たちがお調べて回答したり、あるいは適切な問い

合わせ先を見つけて私たちが電話をし、あらかじめ事情を説明してからその問い合わせ先をご相談者様に紹介したり、といった形でお応えしています。

また、相談窓口の他、県外に避難されている方たちの会合などに福島県を伝える人材を原則無償で派遣することもできます。「母子避難から福島に戻ったママに話を聞きたい」、「避難している農家さんの会合に福島県の営農状況を説明できる人を呼びたい」などのご要望を承り、当センターの会員団体や福島県内外の民間団体、行政や企業とのネットワークを活用して、ご要望に応じた適切な人材を探して派遣します。

お困りのこと、どこに相談したらいいかわからないことがあれば、まずはお電話ください。お電話いただきましたら、お名前・電話番号を頂戴し、こちらからかけ直してお話を伺います。電話代のご心配なく、気軽にお電話ください。お待ちしております。

ふくしまの今とつながる相談室toiro
【相談ダイヤル】024-573-2731
【開設時間】月・水・金 10:00~17:00 ※祝祭日はお休みとさせていただきます
【運営】一般社団法人ふくしま連携復興センター



交流

8~9月

ひろば

避難されている方同士が語らい、
交流を図り、またふるさとの
情報にも触れられる
イベント・カフェをご紹介します。

※問い合わせはそれぞれの主催団体までお願いいたします。



🍷 どんぐりの会

参加費
200円

第2木曜・第4水曜 9:30~14:00
8月14日(木)・27日(水)・9月11日(木)・24日(水)

東日本大震災の影響で避難している同士が集まって気兼ねなくおしゃべりしながら、身近な材料を使ったちぎり絵や造花、かごの制作など、ものづくりを楽しんでいます。お気軽にご参加ください。

場所 かながわ県民センター15階
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口より徒歩5分)
参加対象 東日本大震災の影響で避難されている方
参加費 1回200円

主催・お問い合わせ先: どんぐりの会
TEL 080-5058-7310(小園) 090-4551-1109(大橋)

☺ 神奈川散歩カフェ 「根岸森林公園と三溪園コース」

8月30日(土) 9:30~

日本競馬の発祥の地・根岸森林公園と、横浜が誇る三溪園をガイドと一緒に訪ねる、約7kmのコースです。事前予約不要。小雨決行です。屋外を歩きますので、帽子やお飲みものをご持参ください。

場所 JR 山手駅(京浜東北線/根岸線)
駅前 集合(先着20名程度)
参加対象 東日本大震災の影響で避難されている方
参加費 無料(入場料やご飲食代金は各自でご負担ください)

主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会
TEL 090-2729-1246(高坂)

☺ 富岡町民交流懇談会 「つながろう!富岡町!」

参加費
無料

8月2日(土) 13:30~15:30

同じ故郷の方々同士で集い、語り合う場としてご活用ください。故郷、富岡町を思い出しながら日頃の不安や楽しみを語り合い、コミュニティを広げてみませんか。

場所 かながわ県民センター11階 講義室1
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口より徒歩5分)
参加対象 福島県富岡町から避難されている方

主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 毎週月~土曜日13時~17時

🍵 かながわ・あづまっぺ お茶っこ会

参加費
無料

8月23日(土) 12:30~15:00

神奈川近郊に避難されている皆様がお話できる「お茶っこ」を開催します。スタッフがお待ちしておりますので、おひとりでもお気軽にお立ち寄りください。ものづくりコーナーもご用意しています。

場所 かながわ県民センター11階 コラボスタジオ
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口より徒歩5分)
参加対象 東日本大震災の影響で避難されている方
参加費 無料(ランチは各自ご持参ください)

主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 毎週月~土曜日13時~17時

☺ 浪江町民交流懇談会 「つながろう!浪江町!」

参加費
無料

9月6日(土) 13:30~15:30

ふるさとの言葉で思う存分おしゃべりしませんか?そして、これからも同じふるさとを持つ「浪江町仲間」としてつながりませんか。当日、皆様にお会いすることを楽しみにしています。

場所 かながわ県民センター11階 講義室1
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口より徒歩5分)
参加対象 福島県浪江町から避難されている方

主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 毎週月~土曜日13時~17時

8月 葉月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2 ☺	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14 ☺	15	16	17
18	19	20	21	22	23 ☺	24
25	26	27 ☺	28	29	30 ☺	31

9月 長月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6 ☺	7
8	9	10	11 ☺	12	13	14
15 ☺	16	17	18	19	20	21 ☺
22	23	24 ☺	25	26	27	28
29	30					

- ☺ 富岡町民交流懇談会「つながろう!富岡町!」
- ☺ どんぐりの会
- 🍵 かながわ・あづまっぺお茶っこ会
- ☺ 神奈川散歩カフェ
- ☺ 浪江町民交流懇談会「つながろう!浪江町!」
- ☺ 第5回ふるさとコミュニティinかながわ
- ☺ ファンケル キッズベースボール チャレンジ2014

☺ 第5回ふるさとコミュニティinかながわ

標葉(しねは)せんだん太鼓保存会

<http://sendantaiko.sakura.ne.jp/>

9月15日(月・祝) 10:30~16:00

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の影響で神奈川県やその近隣に避難されている方々に、ひとときの憩いと交流を楽しんでいただくための1日間のイベントです。皆様の故郷の郷土芸能などをお招きしています。

場所 吉野町市民プラザ
横浜市南区吉野町5-26(横浜市営地下鉄 吉野町より徒歩5分)

参加対象 東日本大震災の影響で避難されている方
参加費 無料(事前のお申し込みが必要です)

主催・お問い合わせ先: かながわ避難者と共にあゆむ会
TEL 045-312-1121(内線4142) 電話受付時間: 毎週月~土曜日13時~17時



標葉(しねは)せんだん太鼓保存会は、福島県の双葉町で平成4年に結成され、現在では町内外からも多くのメンバーが参加しています。「初心を忘れず、和太鼓をこよなく愛し、独自の創造力で活動する集団」を合言葉に、週2回の練習を欠かさず太鼓を打ってきました。2011年3月11日、未曾有の東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故で、「技」を伝える場所がなくなってしまったことは残念でなりません。震災後は、メンバーの多くが県内外の多方面に避難、練習も満足にできない状態が続いています。しかし、今まで育ててきた「せんだん太鼓」の灯を簡単に消すことはできません。いつかふるさと双葉の練習場で再び皆と一緒に太鼓を打つ日が来ることを信じて、頑張っていきます。東北がひとつに、日本がひとつになって、この厳しい状況を乗り越えていきたいと思います。

☺ ファンケル キッズベースボール チャレンジ 2014 in 神奈川県秦野市(FKBC) <http://fkbc.jp/>

9月21日(日) 10:30~12:00(予定)

プロ野球OBが野球の面白さを教えてくれます。人気の野球教室が秦野市で開催! 初心者も大歓迎!今回は特別に子供も、大人も一緒に楽しめる内容です。ご参加をお待ちしています。参加要項は同封チラシをご覧ください。

場所 秦野市総合体育館サブアリーナ
神奈川県秦野市平沢101-1
参加対象 小中学生とその保護者
参加費 無料 定員 25組50名

主催・お問い合わせ先: 報知新聞社事業部内KBC事務局
TEL 03-5479-1383 電話受付時間: 平日10時~18時

参加費
無料

講師はジャイアンツOB宮本和知さん、ベ이스ターズOB久保文雄さん(予定)



団体紹介

避難されている方を対象として主に神奈川県内で活動している団体をピックアップしてご紹介します。

守りたい・子ども未来プロジェクト実行委員会



交流会

守りたい・子ども未来プロジェクトでは、主に神奈川県内に避難されている、お子さんがいるご家庭をサポートしています。定期的に開催している交流会では、お子さんが楽しめるイベント(地引き綱、料理教室、外遊びや収穫体験、クリスマス会など)を企画してボランティアや学生が子どもたちのお世話をし、そのすぐそばで保護者交流会を開きますので、安心して参加できます。

また、専門家を招いての健康相談や、弁護士相談会、避難者向けの高校入試の説明会などにも協力しています。最近では、避難されている方々が企画する料理教室なども人気です。



ふくしまカフェ

避難されている人、東北を支援している人、東北出身の方など、さまざまな人が集まり、おしゃべりしたり、情報を入手するための場として、ふくしまカフェを運営しています。場所は、みなとみらい線の馬車道駅にある驛(うまや)カフェ内です。ふくしまカフェには、福島民報、福島民友を毎日置き、福島県内の浜通り、中通りの市町村の広報誌を毎月置いています。その他にも東北3県(岩手、宮城、福島)と神奈川県からの行政情報を置いています。

- 横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー地下1F 驛カフェ(うまやカフェ)内(みなとみらい線 馬車道駅1b出口直結)
- 営業時間/平日7:00~21:00 土曜10:00~18:00 日祝休
- ◎新聞、広報誌の閲覧は営業時間中いつでも可能
- ◎ふくしまカフェ スタッフ常駐日(火、土13:00~17:00)

わらしこ(情報誌)

交流会での様子や、避難されている方に有益と思われる情報を毎月紙面でお送りしています。編集には一部避難者の方々にもご協力いただき、みんなで作る情報誌です。発送も、避難されている皆様と一緒に事務所で印刷、ラベル貼り、封入作業を行っています。おしゃべりしながら、ミニ交流会のような雰囲気楽しく作業をしています。



保養プログラム

福島県内など放射線量が高い地域でなかなか外遊びができない子どもたちを、神奈川県などに招待し、心身の健康と子どもらしい本来の姿を取り戻してもらうことを目的とした保養プロジェクトを実施しています。



団体連絡先

ご住所 横浜市中区弥生町2-15-1ストークタワー大通り公園Ⅲ 305A 神奈川県ユニセフ協会内
TEL:0120-372-895 FAX:045-334-8951
メール:info.mamoritai@gmail.com
ホームページ:http://www.mamoritai2940.com/、http://blog.canpan.info/fukushimacafe/ (ブログ)

活動報告

いわき市と神奈川県を結んだ交流会

かながわ避難者と共にあゆむ会は、6月7日(土)、福島県双葉町民交流懇談会「つながろう! 双葉町」を開催しました。あいにくの雨模様でしたが、神奈川県内などに避難されている方が12名参加されました。また、福島県いわき市内の借り上げ住宅などにお住まいの双葉町民の方々が結成された自治会組織「いわき・まごころ双葉会」のメンバー14名が、遠路はるばる横浜までお越しください、交流を深められました。旧知の方同士での再会の場面もあり、こうした交流の機会に接することができ嬉しく思うとともに、さらに交流が広がっていくことを期待しています。



つなげる・つながる

ふるさと南相馬の会(仮称)を作いませんか

呼びかけ人 江井 和隆(南相馬市小高区出身、横浜市神奈川区三ツ沢町在住)
同郷 南相馬の皆様



避難してから3年が過ぎました。皆様お元気で過ごしてでしょうか。

私も横浜の暮らしにひとまずは慣れてきました。しかし、いつふるさと南相馬に戻れるのだろうか、とあせる気持ちはいつも変わりません。皆様も、帰還するのか別の場所に住むのか、いまだに先行きのご不安や今後の生活についてご心配もあるかと存じます。

私たちは「南相馬仲間」です。ふるさととの「絆」を忘れずに寄り添い、励ましあい、ひとり一人が前を向いて歩いていけるようになりたいと考えております。そのために南相馬市の皆様が、ひとときでも、自分たちで集い、語り合い、時には一緒に外出などを楽しめるような会を作りたいと考えております。

皆様とお会いしたく、ぜひご賛同をお願いいたします。

事務手続きは、かながわ避難者と共にあゆむ会にお願いしています。下記の連絡先までお問い合わせください。



連絡先

かながわ避難者と共にあゆむ会
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター
Tel:045-312-1121(内線4142) [受付時間:毎週月~土曜日13時~17時]
Fax:045-312-1862

お聞かせください

写真や絵手紙、ちぎり絵などを、掲載させていただきませんか?

データをメールでお送りいただくか、現物をご郵送ください。作品の返却を希望される方は、その旨を明記してください。(掲載する作品は、ご本人様の作品に限らせていただきます)



「ともにあゆむ」は隔月発行、次号は9月末を予定しています。今後も内容をますます充実させていきたいと考えています。そのために、みなさまのお力添えをいただけませんか。次号では、避難されている方が中心となって活動されているサークルや交流会をご紹介したいと考えています。ぜひ情報をお寄せください。ご意見やご感想もお待ちしております。

【宛先】〒221-0835横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2かながわ県民活動サポートセンターレターケース339
かながわ避難者と共にあゆむ会「ともにあゆむ」係



今月の表紙

今月の表紙は、「どんぐりの会」の猪狩良子さんの作品です。ちぎり絵は一般には和紙を使いますが、新聞のカラー印刷の部分を工夫して使っています。どんぐりの会は、毎月第2木曜と第4水曜の午前中に、かながわ県民センター(横浜駅から徒歩5分)で活動されています。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

